



「さまさまのこと思ひ出す 桜かな」

芭蕉も、そんな句を詠んでいますね。

入学式で眺めた桜、誰かと歩いたピンクの並木道、散っていく花びらに
寂しさ を覚えたこともあったでしょうか。

今年は、どんな思い出が増えるのでしょうか。楽しみですね。

***** Sports Community & Intelligence Complex *****

【フットボールコーチングセミナー】

第10回 フットボールコーチングセミナー
(2008年3月20日 inホームズスタジアム神戸)

§ テーマ §

【ボールキャリアとフォロワーの動き】



3/20の祝日、10回目となる「フットボールコーチングセミナー10」がホームズスタジアム神戸研修室にて開催されました。年2回ずつ5年間も継続してこられたのは、ヴィッセル神戸、関西学院大学アメリカンフットボール部、神戸製鋼コベルコスティーラーズそれぞれの監督、コーチの方々の協力はさることながら、毎回、熱心に参加して下さるみなさまのご支援があればこそ。この場を借りて、お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

これからも、新しいテーマ、旬のテーマを取り上げ、指導者の方々に少しでもいい情報が提供できるよう尽力いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■□■ 第10回セミナーのまとめ ■□■

“フォロワー”というのは、ボールキャリアが動きやすいようにフォローに周るプレイヤーのことを差します。これまでは、ボールキャリアの技術向上に重きを置いた指導がコーチングの中心でしたが、最近は、フォロワーの動き、判断力の向上に注目が集まっています。ボールキャリアが思い通りのパフォーマンスを発揮するためには、フォロワーの存在が欠かせないからです。

セミナーでは、今回も、実際の試合映像を見ながら、各コーチ陣からの説明と練習内容の紹介がありました。

ラグビー：平尾誠二（神戸製鋼コベルコスティーラーズGM兼総監督）

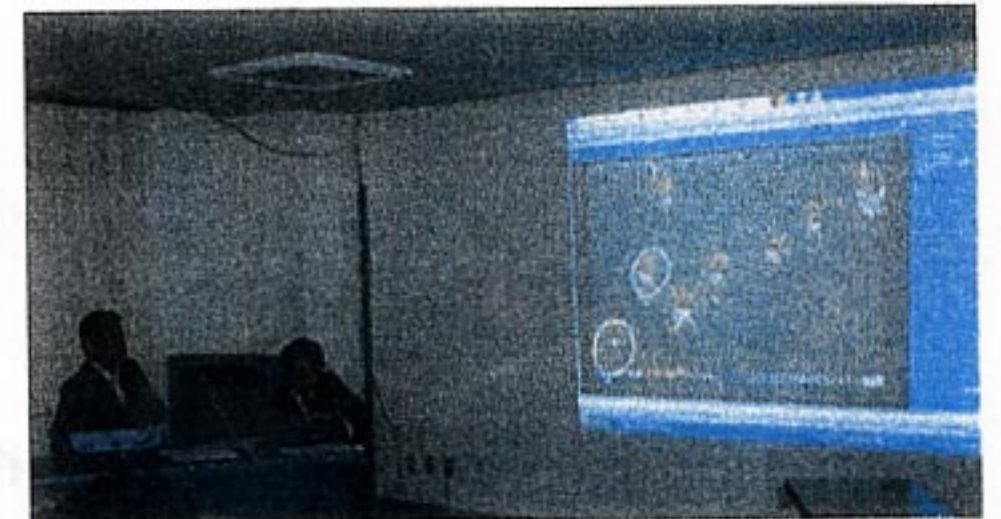
「フォロワーとなったときに大切なことは、ボールキャリアのフォローだけでなく、相手DFの視界に入り、相手を惑わせることである」

サッカー：菊池彰人（ヴィッセル神戸普及育成部次長）

「ボールキャリアは、フォロワーがどのように助けてくれたのか気付くことも必要。気付くことによって、一人では出来ないことでも、フォロワーがいればできると分かり、プレーの選択肢が増える」

アメリカンフットボール：鳥内秀晃（関西学院大学アメリカンフットボール部監督）

「アメリカンフットボールの場合は、ボールキャリアが走るコースを作ってあげることがフォロワーの仕事と言える。作戦上、誰がボールを持って走るのかは決まっているが、フォロワーとしてプレーに絡むことで自分もプレーの中心にいると理解することが大切だ」



【質疑応答】

☆ 兵庫県の高校でアメリカンフットボール部のコーチをしている男性から
 Q, フォロワーの動きが正しかったかどうかは、どのように判断すればよいのか?
 A, (平尾氏)

流動的な中で判断するのは難しいので、ミスが起こったときに、判断面でのミスなのか技術面でのミスなのかを考える機会を持ち、そこから掘り下げて判断していけばいいと思う。

2時間という限られた時間でしたが、受講者の方々は熱心に耳を傾けておられました。

【おまけ】

セミナー終了後の打ち上げの席で、甲子園ボウルを制し、6年ぶりに学生日本一に輝いた関西学院大学ファイターズ・鳥内監督へ、神戸製鋼コベルコスティーラーズ・平尾 GM 兼総監督とヴィッセル神戸・菊池さんより記念品が贈られました。



【SCIXラグビークラブ】

□■□一般の部□■□

SCIX ラグビークラブ一般の部は、関西クラブBリーグを戦い終え、5勝1敗という残念な結果に終わり、兵庫県トップリーグへの降格が決まってしまいました。来シーズンは、関西クラブリーグへの復帰を目指し、一からのスタートとなります。

部員不足や練習時間の確保など、苦しい状況が続いていますが、部員一同精一杯頑張っておりますので、引き続きご声援をよろしくお願い致します。

関西クラブ B

	SRC	OX クラブ	NANAW A 1SS	新豊川 クラブ	KT*	SODA クラブ	新井 ムーンズ クラブ	勝 負	順位
SRC		○ 49-7	○ 25-10	○ 31-5	○ 26-17	○ 29-19	○ 21-5	6	0 1
OX クラブ	● 7-49		△ 15-15	○ 39-22	○ 38-36	● 7-12	● 10-64	2	3 4
NANAW A 1SS	● 10-25	△ 15-15		○ 35-7	○ 76-5	○ 23-6	● 10-58	3	2 3
新豊川 クラブ	● 5-31	● 22-39	● 7-35		○ 41-17	○ 18-12	○ 15-38	2	4 5
KT*	● 17-36	● 36-38	● 5-76	● 17-41		○ 37-27	○ 13-39	1	5 6
SODA クラブ	● 19-29	○ 12-7	● 5-23	● 12-16	● 27-37		● 17-48	1	5 7
新井 ムーンズ クラブ	● 5-21	○ 64-10	○ 33-10	○ 38-15	○ 39-13	○ 48-17		5	1 2

□■□2007 年度送る会□■□

日時：2008年3月8日(土) 15時30分
 場所：灘浜グラウンド人工芝&STEELERS クラブハウス

卒業シーズンを迎え、SCIX ラグビークラブからもこの日の練習を最後に県外の高校や大学に巣立っていく部員がおり、“送る会”が催されました。

コーチ陣からは、「どこへ行ってもそこで精一杯頑張ってくれることだけを願っているし、良い仲間をたくさん作って欲しい」という言葉が送られました。

年齢も学校も住んでいる地域もバラバラで、SCIX ラグビークラブに入らなければ知り合うことができなかった仲間たちです。この縁を大切に、今後は、よき同志、よきライバルとして、それぞれの新天地で活躍してくれることを祈っています。

【コーチ対談】

前回もお報せしたとおり、現在、SCIX ホームページでは、『SCIX ラグビークラブが育てているもの』というテーマで、コーチ対談を行なっています。

【ラグビークラブ】の箇所にも書きましたが、SCIX ラグビークラブ一般の部は、2007年度のシーズンを1勝しか出来ずに終わり、辛酸を舐めました。SCIX だけでなく、クラブチームでラグビーを続けている人の多くが仕事と家庭、そしてラグビーの両立に苦心惨憺しているのが実情です。そんな状況で、ラグビーを継続していくこと、またチームとして強くなるためにはどうすればいいのか？ 武藤コーチ、平尾コーチがそれぞれの考えをぶつけあっています。

そして、平尾誠二理事長が理想に掲げる『SCIX を 100 年つづくチームにする』ためには、どうすればいいのか。

みなさんは、どんな風に感じますか？

SCIX ラグビークラブに、どのようなチームであって欲しいのか。

コーチ対談をご覧になって、私たちと一緒に考えていただけると嬉しいです。



詳しい内容は、SCIX ホームページで。

http://www.scix.org/rfc_index.html

左：武藤規夫（むとう・のりお）
1964年10月19日、宮崎県出身。
2000年7月のSCIX設立時から
事務局スタッフとして参加。
ラグビークラブのコーチを務める。

右：平尾剛（ひらお・つよし）
1975年5月3日、大阪府出身。
2006シーズンで現役を引退、
SCIX事務局の運営に携わりながら
ラグビークラブのコーチを務める。